

小学校版 特別の教科 道徳（道徳科）

内容項目

～道徳の時間から道徳科への変更点～

大分県教育庁義務教育課

	1・2学年 (19)	3・4学年 (20)	5・6学年 (22)	新規の内容項目等
A. 主として自分自身の関すること				
善悪の判断 自律、自由と責任	よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。	正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。	自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること。	◎望ましい自己の形成を図ることに関するもの 【新規の内容項目】 ・低学年の「個性伸長」
正直、誠実	うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。	過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。	誠実に、明るい心で生活すること。	
節度、節制	健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。	自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をする。	安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	
個性の伸長	自分の特徴に気付くこと。	自分の特徴に気付き、長所を伸ばすこと。	自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。	
希望と勇氣 努力と強い意志	自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。	自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。	より高い目標を立て、希望と勇氣をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。	
真理の探究			真理を大切に、物事を探究しようとする心をもつこと。	
B. 主として人との関わりに関すること				
親切 思いやり	身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。	相手のことを思いやり、進んで親切にすること。	誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。	◎望ましい人間関係の構築を図ることに関するもの 【新規の内容項目】 ・中学年の「相互理解、寛容」
感謝	家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。	家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。	日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること。	
礼儀	気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。	礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。	時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。	
友情、信頼	友達と仲よくし、助け合うこと。	友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。	友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。	
相互理解、寛容		自分の考えや意見を相手に伝えるときも、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。	自分の考えや意見を相手に伝えるときも、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。	
C. 主として集団や社会との関わりに関すること				
規則の尊重	約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。	約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。	法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切に、義務を果たすこと。	◎平和で民主的な国家及び社会の形成者としての必要な道徳性を養うことに関するもの 【新規の内容項目】 ・低学年の「公正、公平、社会正義」 ・中学年の「公正、公平、社会正義」 ・低学年の「国際理解、国際貢献」
公正、公平、社会正義	自分の好き嫌いでとらわれないで接すること。	誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。	誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。	
勤労、公共の精神	働くことのよさを知り、みんなのために働くこと	働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと。	働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること。	
家族愛 家庭生活の充実	父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つこと。	父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。	父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。	
よりよい学校生活 集団生活の充実	先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること。	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくることとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実を努めること。	
伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度	我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。	我が国や郷土の伝統と文化を大切に、国や郷土を愛する心をもつこと	我が国や郷土の伝統と文化を大切に、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。	
国際理解 国際貢献	他国の人々や文化に親しむこと	他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。	他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善を努めること。	
D. 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること				
生命の尊さ	生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。	生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。	生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。	◎人間としての自覚を深めることに関するもの 【新規の内容項目】 ・高学年の「よりよく生きる喜び」
自然愛護	身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。	自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。	自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。	
感動、畏敬の念	美しいものに触れ、すがすがしい心をもつこと。	美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。	美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつこと。	
よりよく生きる喜び			よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる。	

